

(例) 授業の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準・評価方法
<p>1, 本時のめあてを確認する。</p>	<p>話し合う目的の確認と達成するための方法を意識づける。</p>	
<p>【めあて】 相手や状況に合わせて、自分なりの話し方で会話をしてみよう。</p>		
<p>2, ゲストティーチャーに対して, さまざまな場面設定でどのような話し方をすればよいか考え, 実践する。</p> <p>校長先生を教室にお迎えし, お薦めの本や読書の仕方などについてインタビューする場面 (教室中央の椅子までお招きする)</p> <p>公民館の館長さんを教室にお迎えし, 現在学校に貸し出して頂いている韓国の子どもたちの絵について質問する場面 (教室中央の椅子までお招きする)</p>	<p>それぞれの場面について, 児童2~3人ずつ会話をさせる。場面に応じて前置きの言葉を添えるよう助言する。聞いている児童は, 終わった後に, 会話のよかった点やもっと工夫するとよい点などについて意見や感想を伝える。会話をした児童は自分が会話をする前に気をつけようとした点や, やってみたいの反省点などについて伝える。ゲストティーチャーの感想(会話中の気持ち)なども伝えてもらう。</p>	<p>それぞれの場面に合わせて, 敬語を使ったり, 話を引き出す言葉を使ったりしている。確認や質問をしながら, 内容にせまる聞き方ができる。 (行動観察・発言)</p>
<p>3, 気持ちのよい話し方をするために大切なことは何か, 班で話し合い, 発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手によって敬語を正しく使う ・やさしい話し方で話す ・感謝の言葉を使う ・あいさつをしっかりとる ・大きな声で話す ・話す内容をよく考えておく 	<p>個人で考えた後は, 班で意見交流する場を設ける。聞き手の気持ちを考えて会話をすることが大事であることを助言する。それぞれの班で話し合ったことを班長が発表する。</p>	<p>相手の状況や伝える内容に気を配った言葉遣いについて理解している。 (発言・ワークシート)</p>
<p>4, 本時のふり返しをする。</p>	<p>基本を押さえつつも, 最終的には自分らしい言葉遣いを見つけていくことを確認する。</p>	